【実践事例 12】　　5-19「国際理解」ニュース　No.298

「世界ってこんなに面白い！」　～本当の“世界のリアル”を知ろう！～

～100 の国が教えてくれた本当のグローバル～

道徳　社会　総合（キャリア・国際理解・環境）

- 実施日　令和２年１０月１１日（日）
- 実施校　寺島中学校　１年（１３５名選択）
- 講　師　藤本　正樹氏　（株）グローカルアース
- 内　容　①「世界ほど面白い“世界”はない！」～100 の国が教えてくれた本当のグローバル～
  ②「多文化共生社会の実現へ」～世界が教えてくれた認め合う大切さ～
  ③「人生は、生きたいように生きられる」～夢を叶えて生きる素晴らしさ～

【生徒の感想文から】

- テレビやネットは、そちら側の良い方に話を進めていることが分かったので気をつけたいです。ネットでは嫌なイメージの国でも行ってみないとわからないという事がわかりました。
- 私は今まで色々な国に偏見をもっていました。ですが今日ふじもん先生のお話を聞いて、考えていたことや偏見などがなくなりました。日本で生きていることに誇りと自信をもって生きていきます。今日は色々な国々の事を教えて下さってありがとうございました。
- 私は今日の授業の一つ一つの言葉が胸にささりました。「常識はさほど常識ではない」この言葉が特に胸にささりました。一歩自分の国から外に出ると常識が違うという、当たり前の事が当たり前ではなくなるというのが世界ということは理解をしていたけれど、今日の授業でもっと深く理解することができました。
- ニュースでは都合よく編集されていて、真実とは違うことがあると知り、驚きました。可能な限り偏見と先入観を捨てて生活していきたいと強く思いました。どんな苦しい状況でもポジティブに考え楽しく生きて生きたいと思います。
- 特に心に残ったことは、「コトバだけのグローバル人間になるな。英語ができても優しい心がないと意味がない」ということです。また僕は日本よりも良い国はもっとあると思っていたけど、そういうわけではないと気付きました。恵まれている日本に住んでいることに誇りを持っていきたいと思います。
- 授業を受けるまでは、国外旅行はどちらかというと危険なイメージがあったけれど、動画や写真に写っていた子どもたちの笑顔を見て、とても楽しそうにしたいので、私も行ってみたいと思いました。また、ホセ・ヒムカさんのスピーチを聞いて「わたしたちは発展するために生まれてきたのではない。幸せになるために生まれてきたのだ。」という言葉がとても印象に残りました。私は、身近にあるものは発展する為でなく、幸せになるために使っていきたいと思います。
- 私はこの授業で世界のリアルを知り、自分も色々な所に行って自分の知らない発見をしてみたいと思いました。